



## 盛岡市プレスリリース

～輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡～

令和8年10月8日  
盛岡市教育委員会  
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

### 盛岡てがみ館 第78回企画展

#### 高村光太郎没後70年「高村光太郎と岩手の人～手紙にみる交流～」の開催について

令和8年(2026)は、彫刻家で詩人としても知られる高村光太郎<sup>たかむらこうたろう</sup>(1883～1956)の没後70年にあたります。光太郎は昭和20年(1945)、宮沢賢治の実家を頼って現岩手県花巻市に疎開し、上京するまでの7年間をこの地で過ごしました。晩年の光太郎と岩手の人々との交流について、手紙をとおして紹介します。

#### 記

【日時】 令和8年10月14日(水)～令和9年2月8日(月)  
午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【場所】 盛岡てがみ館 展示室(プラザおでって6階)

【休館日】 毎月第2火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

【入館料】 一般300円(団体240円)、高校生200円(団体160円)、  
小・中学生100円(団体80円) ※団体は20名以上  
盛岡市内の小・中学生は無料

【主催】 盛岡てがみ館(所管：盛岡市教育委員会)・(公財)盛岡市文化振興事業団

#### 【イベント】ギャラリートーク

日時 ①令和8年10月30日(金) 午前10時30分～午前11時15分  
②令和9年1月23日(土) 午前10時30分～午前11時15分

講師 ①中野 千恵子(盛岡てがみ館主任学芸員)  
②紀 修(盛岡てがみ館館長)

お申し込み ①10月16日(金)、②1月9日(土) いずれも午前10時から電話受け付け  
定員10人(先着順)

【添付資料】第78回企画展チラシ

#### 【問い合わせ先】

(公財)盛岡市文化振興事業団  
盛岡てがみ館  
担当：主任学芸員 中野(なかの)  
TEL：019-604-3302

盛岡てがみ館 第78回企画展 高村光太郎没後70年

# 高村光太郎と

## 岩手の人

手紙にみる交流

高村光太郎と岩手の人々との交流について、  
手紙をとおして紹介します。

令和8年

令和9年

10月14日(水)～2月8日(月)



主催 盛岡てがみ館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

●開館時間 午前9時～午後6時(ただし入館は午後5時30分まで)

●休館日 毎月第2火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

●入館料 個人 一般 300円 高校生 200円 小中学生 100円  
団体(20人以上) 一般 240円 高校生 160円 小中学生 80円

※盛岡市内の小・中学生は無料 ※11月3日(火・祝)は文化の日無料開放につき入館料無料

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10

プラザおでって6階

TEL/FAX(019)604-3302

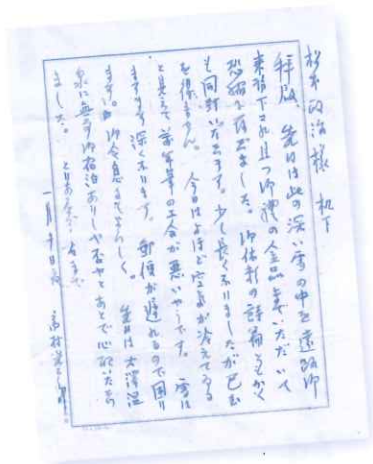


地下駐車場有り(有料)

# 高村光太郎と岩手の人～手紙にみる交流～

令和8年(2026)は、彫刻家で詩人としても知られる高村光太郎(1883～1956)の没後70年にあたります。

光太郎は、昭和20年(1945)、宮沢賢治の実家を頼って現岩手県花巻市に疎開し、上京するまでの7年間のこの地で過ごしました。厳しい自然に身を置き「自己流謫」の日々を過ごした一方、光太郎を慕う多くの人と交流を深めました。光太郎の手紙をとおして、岩手の人々との交流を紹介します。



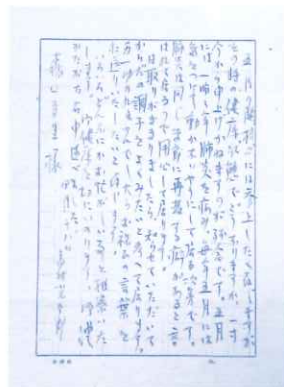
◀高村光太郎書簡 松本政治あて  
(昭和21年1月10日)

光太郎が現岩手日報社の松本政治にあてた手紙。先日  
の訪問に対するお礼と依頼された詩篇を同封すると述べて  
いる。疎開後、岩手で初めての冬を迎えた光太郎は、手紙  
の中で、雪がますます深くなり、郵便が遅れるので困ると、  
山荘の自然環境にもふれている。



▲高村光太郎書簡 森口多里あて  
(昭和23年10月20日)

岩手県立美術工芸学校の校長・森口多里から生徒訪問の依頼を  
受けたことに対し、承諾の旨を伝える手紙。手紙には「生徒さんが御  
来訪になればむしろ喜んでお話致します」と書かれており、同月25  
日、山荘を訪ねてきた美術工芸学校の生徒約30名と引率の佐々木  
一郎、堀江越、深沢省三・紅子に講話を行っている。



▲高村光太郎書簡 森口多里あて  
(昭和23年4月18日) 盛岡市先人記念館 提供

光太郎が、岩手県立美術工芸学校の校長・森口多里にあてた  
手紙。盛岡に於ける美術工芸学校の創設・発足は本年を記念  
する最も意義深き事業であると述べ、有望な岩手の美術工芸  
をどこまでももり立てて育ててほしいと期待を寄せている。

## 関連イベント

### ●ギャラリートーク(学芸員)

令和8年10月30日(金) 10:30～11:15  
お申し込みは令和8年10月16日(金)10:00から  
先着順にて電話受け付け。定員10名。入館料が必要。

### ●ふみの日ギャラリートーク(館長)

令和9年1月23日(土) 10:30～11:15  
お申し込みは令和9年1月9日(土)10:00から  
先着順にて電話受け付け。定員10名。入館料が必要。  
★当日で来館の方にはポストカードをプレゼント(先着10名)

## (公財) 盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

### ■盛岡市先人記念館

第74回企画展 生誕200年記念「大島高任ー日本近代製鉄の夜明けー」  
令和8年9月19日(土)～11月23日(月・祝)

### ■原敬記念館

第71回企画展「原敬と司法省法学校の同窓たち」  
令和8年9月12日(土)～11月23日(月・祝)

### ■石川啄木記念館

啄木生誕140周年 盛岡市・玉山村合併20周年記念  
第21回企画展「歌人 石川啄木の世界」  
令和8年12月12日(土)～令和9年3月22日(月・休)

# 盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者: (公財) 盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでつて6階

TEL・FAX (019)604-3302